

みんなで見よう！国際バカロレア in 愛知

@津島市文化会館大ホール
2024年8月31日(土)



朝日塾中等教育学校

校長 杉本裕介

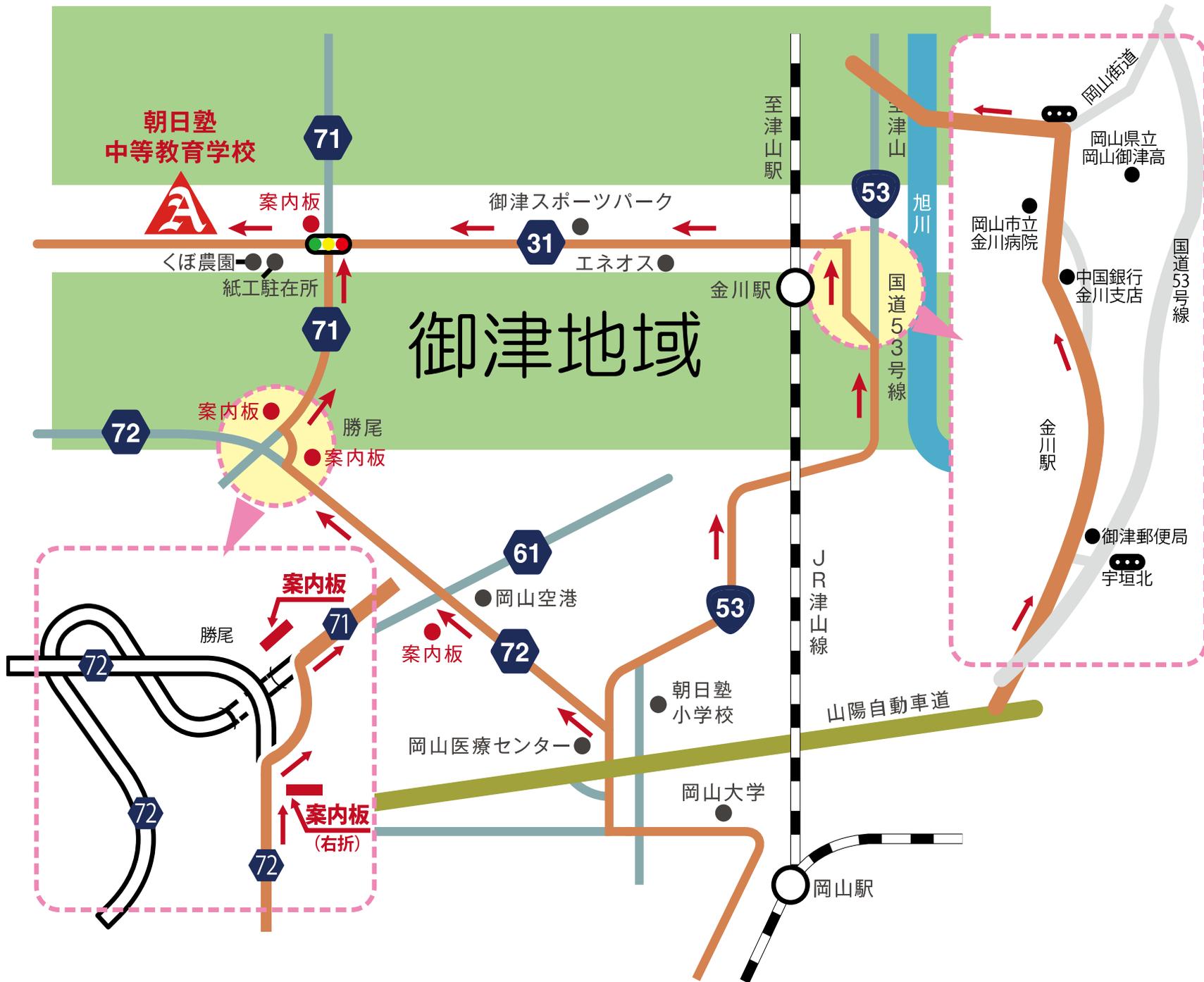
本日本日お伝えしたいこと

- ①IBが求める教員研修（ワークショップ）
- ②認定に向けたプロセス（協働の重要性）
- ③学校が変わる（地域との協働）
- ④本校としての課題

①IBが求める教員研修
(IBワークショップ)

朝日塾中等教育学校





IB導入のきっかけ(1)

～理事の一言～

海外経験が豊富で、本校の留学生募集を牽引している理事による「国際バカロレア」の紹介(2017年4月)

「アメリカ、オーストラリア、中国、東南アジアの各国で『国際バカロレア』に取り組んでいる学校が輝いている。これからの日本に必要な教育なのではないか？」



IB導入のきっかけ(2)

～学園長の思い～

朝日学園グループ学園長 鳥海十児が、本校のパンフレットに記載している言葉

「当学園の生徒が、国連事務総長のような、世界でリーダーシップを発揮できるような人物に育っていくことが、私の夢です。」

→理事会の全面的なサポートに繋がる



IB導入のきっかけ(3)

～少子化に伴う生徒数減少～

2015年頃から中等部入学生が減少し、生徒募集が上手く進まない状況が続く中、「朝日塾中等教育学校に入学しないと体感できないような教育」を作り上げていく必要性を、理事会だけでなく現場の教職員も感じていた。



Cat1

- ・ IB教育初心者向けのワークショップ（WS）。このWSを受講することで、IBの教育者としての資格が付与される。

Cat2

- ・ 経験のあるIB教育者向けに、プログラムの実施に焦点を当てたフォーラムを提供する。

Cat3

- ・ 経験のあるIB教育者向けに、専門的な能力を構成・強化するためのフォーラムを提供する。

IBワークショップ参加後の感想(1)

～百聞は一見に如かず～

- ・2017年8月、東京学芸大学附属国際中等教育学校で初めてワークショップに参加。管理職(Administrator)対象だったので、校長・教頭・教育委員会関係者が多かった。
- ・様々な教科に約300人の教員が全国から参加
- ・公立・私立問わず、熱意ある先生方に囲まれ、自分の無知を恥じる。(数名の例外もあったが…)



IBワークショップ参加後の感想(2)

～百聞は一見に如かず～

- ・文科省の手厚いサポートを強く感じる。
- ・「新学習指導要領との親和性」といったことも話題になっており、「新しい教育」だと実感する。
- ・関心校や候補校の管理職の方々は、「自校の教員にどのように理解を求めるか」といった不安を自分と同じように抱えていたが、認定校の方々が積極的にアドバイスしてくださり、いろいろなアイデアを頂戴することが出来た。



IBワークショップへの参加促進 ～百聞は一見に如かず～

- ・「IBとは何か」を言葉で伝えるのではなく、自校の教員に体感してもらうことの重要性に気付く。
- ・様々な教科・科目のワークショップに参加することで、IB認定校の先生方とのネットワークが広がる。
- ・他校の先生方の経験や取り組みを学び、「IBを進めていく上での悩み」を同じ教科間で共有できる。



IBワークショップ参加人数(延べ数)

年度	人数	訪問先
2017	25	東京、高知、大阪、タイ、シンガポール
2018	20	東京、仙台
2019	21	東京、仙台、札幌、フィリピン
2020	4	オンライン
2021	18	オンライン、バーチャル
2022	13	バーチャル、
2023	15	仙台、バーチャル
2024	6	大宮、横浜(予定)

校内研修、校外研修

- In-school Workshop（校内研修）

2018年度（39名）、2019年度（41名）

※認定後は「IB Meeting」という形で月1回、職員研修を実施中。

- 公開授業、研究授業参加

東京学芸大学附属国際中等教育学校

玉川学園中等部・高等部

大阪教育大学附属池田中学校

高知県立高知国際中学校・高等学校

さいたま市立大宮国際中等教育学校

指導の手引き(ガイド)の改訂

Studies in language and literature			
Language A: literature	2019/20	November 2020	May 2021
Language A: language and literature	2019/20	November 2020	May 2021
Language acquisition			
Language B	2018/19	November 2019	May 2020
Language ab initio	2018/19	November 2019	May 2020
Classical languages	2022/23	November 2023	May 2024
Individuals and societies			
Business management	2022/23	November 2023	May 2024
Digital society (replaced information technology in a global society)	2022/23	November 2023	May 2024
Economics	2022/23	November 2023	May 2024
Geography	TBD	TBD	TBD
Global politics	2024/25	November 2025	May 2026
History	2026/27	November 2027	May 2028

②認定までのプロセス
(教員間の協働の重要性)

関心校

- 管理職のワークショップ参加
- 候補校申請書の提出

候補校

- ・ MYPトライアル
- コンサルタント訪問
- 認定校申請書の提出 → 確認訪問の実施

認定校

- 定期的なワークショップへの参加
- 評価訪問(5年後)に向けた準備

MYP認定までのタイムライン

(候補校から認定校まで2年11カ月)

- 2017年8月 IBワークショップ参加開始
- 2018年3月 MYP候補校 →MYPトライアル開始
- 2019年7月 MYPコンサルテーション訪問
- 2020年9月 MYP認定校申請書 提出
- 2020年12月 MYP確認訪問
- 2021年1月 MYP認定



DP認定までのタイムライン (候補校から認定校まで1年8カ月)

2017年8月 IBワークショップ参加開始

2019年3月 DP候補校

2019年10月 DPコンサルテーション訪問

2020年6月 DP認定校申請書 提出

2020年9月 DP確認訪問

2020年10月 DP認定



IB教育に対する理解・共感の重要性

～ハード面よりもソフト面が大切～

各種施設（理科室・メディアセンター等）の整備状況も認定に
寄与したことは間違いないが…。

→コンサル訪問、確認訪問を通じて、重視されていたのは
「関係者のIBに対する理解・共感」だったのではないか。

→本校生徒・保護者の「前向きな姿勢」が訪問団の高い評
価を受け、認定に大きく寄与した。



「協働」の重要性

～IB委員会で学校の方向性の確認と業務分担～

【IB委員会のメンバー】

- ・校長 ・教頭 ・IBコーディネーター
- ・教務部長 ・進路指導部長 ・国際交流部長
- ・MYPプロジェクト コーディネーター
- ・学校司書



「協働」の重要性

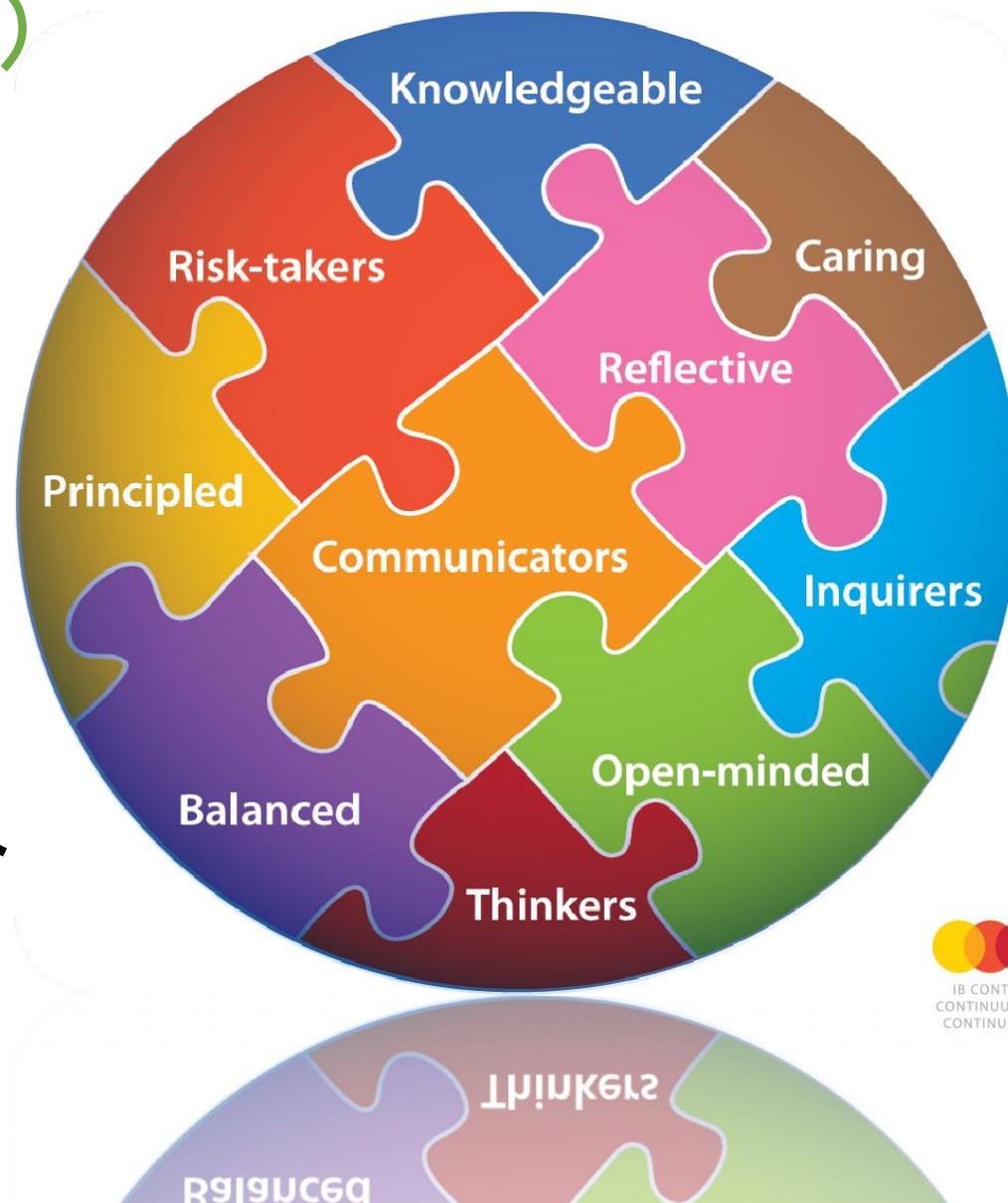
～IB委員会で学校の方向性の確認と業務分担～

- 月2～3回の会議を、2018年4月から継続して開催。
- 「IBに関わる全てのこと」をこの場で話し合い、方向性や業務の進捗状況を確認。
- 認定に至るまでの書面準備や認定後の校内研修等、IB委員会メンバーで分担し、業務に当たっている。



「IBの学習者像」(10の人物像)

探究する人
知識のある人
考える人
信念をもつ人
心を開く人
思いやりのある人
コミュニケーションができる人
挑戦する人
バランスのとれた人
振り返りができる人



ATLスキル (Approaches to Learning)

生涯学習者として必要なソフトスキル

1. コミュニケーションスキル

2. 社会性スキル (協働)

3. 自己管理スキル (時間管理・心理状態の管理・振り返り)

4. リサーチスキル (情報リテラシー・メディアリテラシー)

5. 思考スキル (批判的思考・創造的思考・スキルの応用)

③学校が変わる
(地域との協働)

「学校が変わる」

～Think globally, act locally 地域との協働～

「コミュニティとの繋がり」

- ・IBは、「学校関係者・地域コミュニティとの繋がり」を大切にしている。
- ・地方の学校の方が、「コミュニティとの繋がり」が強くなりやすいのではないか。
→IBに活用できる素材に満ち溢れている。



「学校が変わる」

～Think globally, act locally 地域との協働～

【事例1】「御津公民館獅子舞フェスタ」

- ・留学生を含む有志で、2020年から参加
- ・地域の獅子舞保存会の方々から、生徒が獅子舞を学ぶことで世代間交流が進む。
- ・MYP社会「フィールドワーク」と連動することで「地域における獅子舞の役割」を学ぶ。



「学校が変わる」

～Think globally, act locally 地域との協働～

【事例2】「みつ元気プロジェクト」

- ・DP1期生が立ち上げ、2期生・3期生に継承
(DP生以外の有志も参加)
- ・地元の県立高校の生徒とともに、公民館で地域課題を話し合い、そこから地域活性化のアイデアを出し合う。



七曲七夕みたたま祭り

「みつ元気プロジェクト」が
中心メンバーとなり、地域の
企業と連携して、イベントを
運営・企画

第2回
七曲七夕
みたたま祭り

ラストサムライ瀧善三郎の里
御津金川でお待ちしています

令和6年7月6日(土)

七曲神社

会場 七曲神社および周辺地
(岡山県岡山市北区御津金川602番地)

劇団歴史新大陸公演
「ラストサムライ
—瀧善三郎の武士道—」
エキストラ
公開オーディション
開催決定!!



【事例3】
近隣地域からの
リクエストで、
河原邸（岡山市
指定重要文化財）
横の倉庫の壁画
デザイン
→地域から感謝状

本校の課題

～校長として取り組むべきこと～

- ①認定校として本校が実践しているIB教育の内容を深める。
(特に、「概念理解」「学問的誠実性の理解」といった部分を
中等部で深めたい)
- ②MYPとDPの繋がりを深める。(SA→CAS、
MYPプロジェクト→EE・TOK、DPに繋がる英語教育)



本校の課題

～校長として取り組むべきこと～

- ③近隣地域の方々の「IB教育に対する理解」を深める。
(県内外のもっと多くの方々に「IB教育の素晴らしさ」を伝えたい)



【参考文献】

- 国際バカロレア機構. 『プログラムの基準と実践要綱』. 2022年.
- 国際バカロレア機構. 『DP:原則から実践へ』. 2014年.
- 国際バカロレア機構. 『MYP:原則から実践へ』. 2016年.
- 国際バカロレア機構. 『Diploma Programme updates』. 2024年.

【関連サイト】

- 文部科学省IB教育推進コンソーシアム <https://ibconsortium.mext.go.jp/>

ご清聴ありがとうございました。



朝日塾中等教育学校